

最後まで自分らしく生きるために

「どうする人生会議」

～もしもの時に備えて～

住み慣れた我が家で 最後まで自分らしく生きるために…

いざというときに『どんな暮らしがしたいか』『どんな医療・ケアを受けたいか』前もって考え周囲に伝えておくことは大切です。人生の最終段階の生き方を元気な時から考えておく意義とそのことを家族や身近な人と共有することの大切さについて、また話し合いのきっかけづくりとしてご夫婦・ご家族でのご参加もお待ちしております。

日時

令和5年 11月25日(土)

14:00～15:30 (開場 13:30)

参加無料
手話通訳あり

会場

横須賀市医師会館 2F (横須賀市新港町 1-11)

講師 プロフィール

くさかべ あきひこ

日下部 明彦 先生

(横浜市立大学総合診療医学准教授)

消化器内科医、ホスピス病棟長、在宅医を経験し、地域医療における「連携」の重要性に気付く。地域医療の現場から見た連携の課題について取り組み、次の世代に伝えるため2014年10月より横浜市立大学 総合診療医学准教授に就任。

横浜市の人生会議用冊子「もしも手帳」、「横浜市『人生会議』短編ドラマ」の制作にも携わる。



申込方法 : ① FAX : 裏面の申込書に必要事項をご記入の上、医師会宛にお送りください
② インターネット : 医師会HP「市民健康講座開催のお知らせ」参加申込みフォームより

定 員 : 100名 (申込先着順) (定員を超えご参加頂けない場合はご連絡致します)

申込締切 : 11月10日(金)

問合せ先 : 横須賀市医師会かもめ広場 (Tel 046-824-6430)

※駐車場は利用できません

主催 : 横須賀市医師会 ・ 神奈川県医師会